

2019年10月8日

株式会社ナイルワークス  
ダイハツ工業株式会社

「第6回 国際 次世代農業EXPO」に、両社で共同開発を進めている

## 農業用ドローン発着ポート搭載車両を出展

株式会社ナイルワークス（以下、ナイルワークス）と、ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、2019年10月9日（水）～11日（金）、幕張メッセ（千葉県千葉市）にて開催される「第6回 国際 次世代農業 EXPO」のナイルワークスブース（小間位置：6ホール 32-31）に、共同開発を進めている農業用ドローン発着ポート搭載車両を参考出展する。

農業用ドローン発着ポート搭載車両は、ドローンを搭載して農地に向かい、軽トラックから地面に降ろさずに、ドローンを発着させ、農薬散布や生育診断を行うことを想定している。

これにより、軽トラックからのドローンの積み降ろしが不要となるなど作業負担の軽減に加え、一人作業実現による人員面での負担軽減を目指す。

なお、今回の共同開発では、発着ポートの設計をダイハツが担当、ドローンが確実に発着できるシステム制御開発や農地での飛行評価をナイルワークスが担当し、実用化に向けて取り組んでいる。この他にも、両社は、それぞれの得意分野を生かして、農家のお役に立てることを目指し、様々な検討を開始している。



展示予定の農業用ドローン発着ポート搭載車両イメージ

以上